下 水 道

荒土地区

松田

田名部

布市

清水島

別所

細野口

北宮地

波

妙金島 ※

堀 名

伊

新 保

松ヶ崎

保 田

西光寺

北西俣

本 郷

西遅羽口

東遅羽口

杉 俣

発 坂

保田出村

遅羽地区

嵭 崎

新 道

北山

千代田

合 計

ф 島

88.4 比島

生

大 袋

100.0 志 田

矢戸口 ※

鹿谷地区

北新在家

区名

圖上下水道課

区 名

旭町1·2、旭毛屋町

立川町1・2

本町1~4

栄町1~5

沢町1・2

猪野瀬地区

猪野□

若猪野

猪野

片 瀬

平泉寺

岡横江

五本寺

黒 原

暮 見

寺 尾

浄土寺

上芳野

龍 谷

竹 林

聖丸

深谷

野向地区

滝波町1~5

長山町1・2

郡町1~3

郡

村岡地区

芳野町1・2

北市·上高島、下高島

下毛屋·毛屋町

片瀬町1・2

平泉寺地区

勝山地区

元町1~3

昭和町1~3

88

(市民会館2階)

◆合併処理浄化槽設置

る

公 共

%

95.2

94.6

96.0

97.1

94.1

93.5

93.1

93.2

95.6

93.2

81.0

95.5

90.5

93.5

95.4

86.2

97.5

70.6

70.8

69.6

94.5

100.0

100.0

93.2

88.6

88.6

93.2

98.1

91.6

81.0 蓬

100.0

93.3

40.5

制度があります。 設置費の一部を補助す

事完了 下水道排水設備指定 後、 市の検査 着手 (手続 じます) (勝

②工事の申請・着手 工事店から選びます)山市下水道排水設備指①接続工事業者の選定(れ

%

80.0

74.6

100.0 79.8

78.1

80.5

92.1

64.0

95.7

70.7

82.7

0.0

90.4

94.4

78.6

86.8

82.6

66.1

44.9

84.2

66.2

62.1

90.7

91.7

92.2

83.3 83.5

100.0

96.4

97.6

77.8

43.7

82.9

71.4

91.0

_

水道使用開始までの流

をお願い します。

合は、お早めに接続、設域内で浄化槽が未設置の 合併処理浄化槽整備指定区 工事がまだ済んでいない、 いる地区でご自宅の水洗化 下水道本管が整備されて

各地区別水洗化率(令和2年3月末)

農	業集	落 排 水	
区 名	%	区 名	%
神谷地区	100.0	勝山東部地区	88.5
栃神谷	100.0	赤尾	92.5
薬師神谷	100.0	笹 尾	78.3
北野津又地区	100.0	大渡	91.7
勝山西部地区	83.8	壁倉	100.0
西妙金島	66.2	岩ケ野	73.5
檜曽谷	89.1	大矢谷	86.0
新町	93.8	神野	100.0
志比原	66.2	経 塚	61.1
上森川	100.0	上 野	50.0
下森川	85.5	下荒井	86.2
東野	81.8	伊知地・坂東島地区	68.3
上 野	78.8	伊知地	74.6
中清水	87.5	坂東島	61.0
		合 計	82.3

ちづくりを勧めています。 拡大し、環境に配慮したま 設置のお願い早期接続、合併浄化槽公共下水道等への

(以て、集落排水、今で集落排水、今で

、合併処理浄化槽公共下水道や農業

下水道等)

の整備を

A 12	4 hn Ti	л Ул Л. Ш	
合 併	· 処 玛	型 浄 化 槽 一	
区名	%	区 名	%
北谷地区	38.9	荒土地区	43.8
中尾	50.0	境	37.3
北六呂師	16.7	戸倉	83.3
河 合	0.0	西ヶ原	27.6
木根橋	19.0	新 道	62.5
小原	0.0	その他地区	35.6
谷	0.0	野向町牛ケ谷	18.2
杉山	0.0	野向町横倉	0.0
		村岡町滝波	54.5
		平泉寺町小矢谷	0.0
	•	合 計	40.7

- 水洗化率=下水道等に接続済の人口/下水道等に接 続できる人口
- 「一」は未整備または整備中の地区
- ・ ※印は、供用開始から3年未満の地区

業務状況

項目	業務量	前年度比
給水人口	21,781人	-1.82%
給 水 戸 数	7,494戸	-1.42%
年間総配水量	2,808,331m³	-2.45%
年間有収水量	2,299,727m³	-1.75%
1日最大配水量	13,063㎡ (令和元年8月6日)	-4.51%
有 収 率	81.89%	0.58% (前年度からの上昇数)
導送配水管延長	346,725.8m	0.02%

財政状況 表(2)

【収益的収支(税抜)】

区	分	R元年度決算額	H30年度決算額
収	入	5億892万円	5億1,050万2千円
支	出	4億7,680万8千円	4億7,835万2千円
差	31	3,211万1千円	3,215万円

【資本的収支(税込)】

区	分	R元年度決算額	H30年度決算額
収	入	1億2,489万2千円	7,059万2千円
支	出	3億2,216万1千円	3億1,582万1千円
差	31	-1億9,726万8千円	-2億4,522万9千円

表③ 主な拡張事業

事業名(工事名)	地 係	事業費(工事費)
市道6-44号線 配水補 助管布設工事	郡町2	137万5千円

表④ 主な改良事業

事業名(工事名)	地係	事業費(工事費)
地上式消火栓設置工事	遅羽町 嵭崎ほか	645万9千円
立川水源地 取水流量計 設置工事	立川町2	2,322万円
立川水源地 取水流量 計廻り配管工事	立川町2	947万2千円
若猪野水源地 No.2号 井戸さく井更新工事	若猪野	2,068万円
雁ヶ原配水池〜立川上水道管理センター 遠方監視設備更新工事	170字 奥山ほか	1,633万5千円
主要地方道大野・勝山線ほか 配水 管布設に伴うアスファルト舗装工事	平泉寺町 大渡	639万5千円
若猪野水源地 No.2号 井戸機械設備工事	若猪野	1,520万2千円

令和元年度水道事業会計

事業報告

892万円、総事業費用は4昨年度の総事業収益は5億財政状況(表②参照) 純利益321 億7680万8千円となり、 上しました。 1万1千円を計

8月減少(前年度比1・4%82%減)し、給水戸数が10分和元年度は、給水人口が

令和元年度は、給水 令和元年度は、給水

年度より0・58%上昇しましる結果となりましたが、有収を指別を持つまが前年度を下回

填しました。 千円は損益勘定留保資金で補 り、不足額1億9726万8 は3億2216万1千円とな

る影響もあり、年間総配水量、

489万2千円、

-6万1千円とな-円、資本的支出

一方、資本的収入は1

·億 2

また、人口減少や暖冬によ

減) しました。

近年は漏水修繕の実施によ

よる漏水修繕費用や、活料%の減となる一方、党などが減少し、前年度などの表質などの表質などが減少し、前年度 そのうち、主な収入で0%の減となりました。営業収益は、前年度比総括事項

0・9%の増となりました。却費が増額となり、前年度比 暖冬により消雪のための散水 給水収益は、人口減少に加え、 給水管などの老朽化に 主な収入である 前年度比1 前年度比1 営業費 減価償

設以来、約6年が経過し、 しかし、

と、う後は、 耐震化を進めますが、 多額の

費の削減に努めることで経常が減少する中でも、維持管理り有収率が改善し、給水収益 収支は安定しています。 約60年が経過し、施、昭和34年の事業創

と、順次、管路などの更新やの必要があるほか、地震などの災害に備え、強靭化や耐震化も求められています。

理に努め、更なる経営のため、既存水道施設の維 ため、既存水道施設の維持管安全な水道水を供給していく

効率

市民生活に不可欠の清浄で

も含めた財政基盤の強化が必的に活用しながら、料金改定現在保有している資金を計画 要と考えています。

は、市立図書官こう、水道事業会計決算の詳細 化を図ります。 でご覧ください

11 — 広報かつやま 9月号 No.790